

【表紙】

【提出書類】 訂正発行登録書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2025年3月19日

【会社名】 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

【英訳名】 Mitsubishi UFJ Financial Group, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表執行役社長 亀澤宏規

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

【電話番号】 (03)3240-8111(代表)

【事務連絡者氏名】 財務企画部次長 伊藤潤

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

【電話番号】 (03)3240-8111(代表)

【事務連絡者氏名】 財務企画部次長 伊藤潤

【発行登録の対象とした募集有価証券の種類】 社債

【発行登録書の提出日】 2023年7月3日

【発行登録書の効力発生日】 2023年7月11日

【発行登録書の有効期限】 2025年7月10日

【発行登録番号】 5 - 関東1

【発行予定額又は発行残高の上限】 発行予定額 50,000億円

【発行可能額】 38,110億円  
(38,110億円)  
(注)発行可能額は、券面総額又は振替社債の総額の合計額  
(下段( )書きは発行価額の総額の合計額)にもと  
づき算出しております。

【効力停止期間】 この訂正発行登録書の提出による発行登録の効力停止期間は、  
2025年3月19日(提出日)です。

【提出理由】 2023年7月3日付で提出した発行登録書の記載事項中、「第一部 証券情報 第1 募集要項」の記載について訂正を必要とするためおよび「募集又は売出しに関する特別記載事項」の記載について追加するため、訂正発行登録書を提出するものであります。

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 【訂正内容】

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ第14回期限前償還条項付無担保社債(担保提供制限等財務上特約無)(グリーンボンド)に関する情報

## 第一部 【証券情報】

## 第1 【募集要項】

## 【社債管理者を設置しない場合】

## 1 【新規発行社債(劣後特約が付されていない場合)】

銘柄

(訂正前)

銘柄	株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ無担保社債 (担保提供制限等財務上特約無)
----	---

(訂正後)

銘柄	株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ第14回無担保社債 (担保提供制限等財務上特約無)(グリーンボンド)
----	--

各社債の金額

(訂正前)

各社債の金額(円)	1億円以上
-----------	-------

(訂正後)

各社債の金額(円)	1億円
-----------	-----

発行価格

(訂正前)

発行価格(円)	未定
---------	----

(訂正後)

発行価格(円)	額面100円につき金100円
---------	----------------

償還期限

(訂正前)

償還期限	未定
------	----

(訂正後)

償還期限	2036年4月以降(11年債)(注)1、2
------	-----------------------

払込期日

(訂正前)

払込期日	未定
------	----

(訂正後)

払込期日	2025年4月以降(注)1
------	---------------

- (注) 1 それぞれの具体的な日付は今後決定する予定であります。  
2 当社は、2035年4月以降に到来するいずれかの利払日に、あらかじめ金融庁長官の確認を受けたうえで(法令等にもとづき当該確認が必要とされる場合に限る。)、残存する本社債の全部(一部は不可)を、期限前償還期日までの経過利息を付して、額面100円につき金100円の割合で、期限前償還することができる。

#### 4【社債の引受け及び社債管理の委託】

(訂正前)

##### (1)【社債の引受け】

引受人の氏名又は名称	住所	引受金額	引受けの条件
未定	未定	未定	未定
計		未定	

##### (2)【社債管理の委託】

該当事項はありません。

(訂正後)

##### (1)【社債の引受け】

引受人の氏名又は名称	住所	引受金額	引受けの条件
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目9番2号	未定	未定
計		未定	

- (注) 1 本社債は金融商品取引業等に関する内閣府令(以下「金商業等府令」という。)第153条第1項第4号八に掲げる社債券に該当し、当社は金商業等府令第147条第3号に規定する本社債の主幹事会社である三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社の親法人等に該当します。三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社は当社の連結子会社です。当社は本社債の発行価格及び利率(以下「発行価格等」という。)の決定を公正かつ適切に行うため、本社債の発行価格等は、日本証券業協会の定める「有価証券の引受け等に関する規則」第25条の2に規定されるブレ・マーケティングの手続きに従い決定する予定であります。  
2 元引受契約を締結する金融商品取引業者のうち、主たるものは三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社を予定していますが、その他の引受人の氏名または名称およびその住所ならびに各引受人の引受金額、引受けの条件については、利率の決定日に決定する予定です。

##### (2)【社債管理の委託】

該当事項はありません。

#### 5【新規発行による手取金の使途】

(訂正前)

(1) 【新規発行による手取金の額】

未定

(2) 【手取金の使途】

当社の連結子会社への出資金・貸出金（当該連結子会社の自己資本の充実のための資金を含む。）、長期的な投資資金、業務運営上の一般運転資金または借入金の返済資金に充当する予定であります。

（訂正後）

(1) 【新規発行による手取金の額】

本社債の払込金額の総額（未定）億円（発行諸費用の概算額は未定）

(2) 【手取金の使途】

当社の連結子会社への出資金・貸出金（当該連結子会社の自己資本の充実のための資金を含む。）、長期的な投資資金、業務運営上の一般運転資金または借入金の返済資金に充当する予定であります。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ第14回期限前償還条項付無担保社債（担保提供制限等財務上特約無）（グリーンボンド）の発行による手取金は、全額を連結子会社への貸出を通じて別記「募集又は売出しに関する特別記載事項」欄に記載するグリーンファイナンスフレームワークの適格クライテリアを満たす当社本館の建設関連資金への新規または既存の資金に充当する予定であります。なお、実際の充当時期まで、当該連結子会社は未充当額と同額を現金、現金同等物または短期金融資産等の安全性及び流動性の高い有価証券に投資して管理します。

## 【募集又は売出しに関する特別記載事項】

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ第14回期限前償還条項付無担保社債(担保提供制限等財務上特約無)(グリーンボンド)に関する情報

### グリーンボンドとしての適合性について

当社が策定したグリーンファイナンスフレームワークは、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所からのセカンド・パーティ・オピニオンを取得しており、国際資本市場協会(ICMA)が公表する「グリーンボンド原則2021(GBP)」、ローンマーケットアソシエーション(LMA)、アジア太平洋地域ローンマーケットアソシエーション(APLMA)およびローン・シンジケーション&トレーディング・アソシエーション(LSTA)による「グリーンローン原則2023(GLP)」への適合性を確認しております。グリーンボンドは、本フレームワークに基づいて発行されます。

### グリーンファイナンスフレームワークについて

#### 調達資金の用途

グリーンファイナンスで調達した資金は、以下の適格クライテリアを満たす当社本館の建設関連資金へのファイナンス又はリファイナンスに充当されます。

グリーンボンド/ローン原則プロジェクトカテゴリー	適格クライテリア
グリーンビルディング (環境目標:気候変動の緩和)	以下のいずれかの認証をグリーンファイナンスの実行日から遡り過去36ヶ月以内に取得又は将来取得予定の物件、若しくは以下のいずれかの第三者認証が有効期間内である物件のうち、当該グリーンファイナンス実行日から遡り過去36ヶ月以内に竣工された物件 ・LEED:Platinum又はGold ・CASBEE:Sランク又はAランク ・ZEB認証:ZEB,Nearly ZEB,ZEB Ready,ZEB Oriented

#### プロジェクトの評価および選定プロセス

評価および選定のプロセスに関しては、当社総務部が適格クライテリアに適合していることを確認し、適格性の評価及び選定に対する最終判断は当社財務企画部CF0室が行います。

なお、当社では、関連する法令や国際的なプラクティスに基づき環境や社会へ適切な対応を実施し、潜在的にネガティブな環境面・社会面の影響に配慮しています。

#### 調達資金の管理

当社は三菱UFJ銀行の社内経費・投資管理システムを使用して適格グリーンプロジェクトへの資金の充当状況を少なくとも1年に1回モニタリングおよび追跡管理します。

ファイナンスを実行するのは当社ですが、調達された資金は当社の全額出資子会社である三菱UFJ銀行に融資されます。当社は当社と三菱UFJ銀行の間で締結された融資契約に基づき、ファイナンスによって調達資金を受け取るのとほぼ同時に、それと同額の資金を三菱UFJ銀行に送金します。調達した資金の全額が適格グリーンプロジェクトに充当されるまで、三菱UFJ銀行は未充当額と同額を現金、現金同等物、又は短期金融資産等の安全性及び流動性の高い有価証券にて管理・運用する予定です。

#### レポートニング

##### ・資金充当状況レポートニング

当社は少なくとも全額が充当されるまで1年毎に、また、重要な変化がある場合には適時に、以下に関する情報を提供します。

##### ・調達資金の充当額

- ・未充当額および充当予定時期
- ・リファイナンスを行う場合には、調達資金における新規とリファイナンスの割合

資金充当状況レポートは、年度末（3月）を基準とし、3ヶ月以内（6月まで）に当社のウェブサイトで開示（ローンの場合は貸し手に対して報告）します。

・インパクト・レポート

当社は以下の内容を含むインパクト・レポートをファイナンス残高が残存する限り、実務上可能な範囲で、当社のウェブサイトにて毎年実施（ローンの場合は貸し手に対して報告）します。

- ・（竣工前）当社本館におけるCO2排出削減量
- ・（竣工後）当社本館におけるCO2排出量
- ・グリーンビルディング認証の取得状況（取得又は取得予定時期・認証の種類・水準）